

令和 4 年 12 月 22 日

会員 各位

公益社団法人日本産婦人科医会

会長 石渡 勇

副会長 前田 津紀夫

常務理事 福嶋 恒太郎

出産育児一時金の引き上げに伴う出産費用の見える化について

令和 4 年 12 月 1 日付日産婦医会発第 275 号にて通知した通り、社会保障審議会医療保険部会においていわゆる“分娩費用の見える化”について検討されているところです。日本産婦人科医会(以下「本会」という。)は、その後厚生労働省とも協議を重ね、12 月 9 日の同部会では本会へのヒアリングの機会が与えられました。本会へのヒアリングが初めてでもあり、周産期医療に係わる重要な案件への医療現場を預かる専門職能団体である本会の考えが十分に反映されていないこと、今後は審議の早い段階から本会が関わるべきであることとともに、見える化についての本会の意見を主張いたしました。

12 月 15 日の社会保障審議会においては、本会の主張も一部取り入れられたものの、出産費用の見える化については、医療機関等ごとの出産費用の状況のみならず、その医療機関等の特色やサービスの内容なども併せての形となり、直接支払制度の専用請求書の内容に基づき算出した平均入院日数や出産費用、妊婦合計負担額等の平均値に係る情報は、新たに設ける「見える化」のための H P で医療機関等ごとに令和 6 年 4 月を目途に公開されることとなりました。

今後は令和 5 年夏までに公表項目の詳細を詰めていく中で、可能な限り周産期医療体制を堅持できるよう有識者として関わるとともに、本会としても分娩費用設定の考え方や自費診療としての分娩料金の院内掲示や各ホームページでの適切な情報提供などのあり方についても議論を進めてまいります。

会員各位におかれましては、下記の通り、社会保障審議会医療保険部会の資料等をご参照の上、今後の動静にご留意いただきますようお願い申し上げます。

記

添付資料

令和 4 年 12 月 9 日 第 160 回社会保障審議会医療保険部会

1. 出産費用等の見える化に関する意見書

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001022175.pdf>

2. 第 160 回社会保障審議会医療保険部会議事録

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29908.html

3. 令和 4 年 12 月 16 日 社会保障審議会医療保険部会における議論の整理

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001025023.pdf>

以上